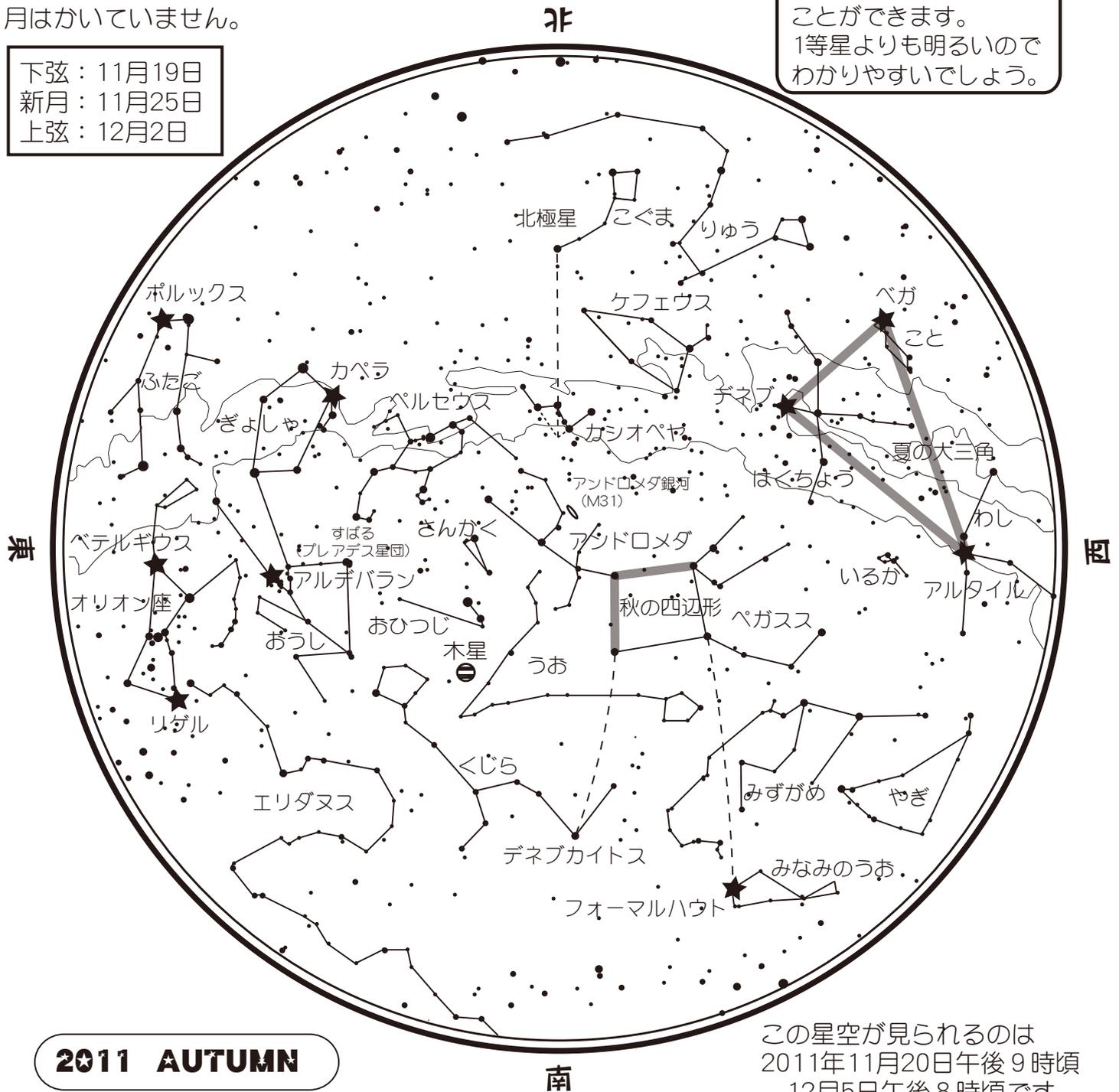


★姫路で見る11月後半の星空★

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図を見るときには見ている方向の方位を下にして下さい。
★は一等星を表しています。
月はかいていません。

☆木星を見よう☆
夜の7~9時ごろ東の空
に見え、ほぼ一晩中見る
ことができます。
1等星よりも明るいので
わかりやすいでしょう。

下弦：11月19日
新月：11月25日
上弦：12月2日



2011 AUTUMN

この星空が見られるのは
2011年11月20日午後9時頃
12月5日午後8時頃です。

紅葉が見ごろの今の時期、星空では秋の星座に続いて、冬の星座も見えるようになります。まずは天頂で輝く「秋の四辺形」を見つけて、そこから探してみましょう。

秋の四辺形はペガサス座の胴体部分にあたり、西側の辺を南の空にのぼすと、秋の星空でたったひとつの一等星フォーマルハウトが見つかります。今度は、ペガサス座のおへそにあたる星から北東の空へと並ぶ明るい星を結びと、アンドロメダ座ができあがります。アンドロメダ姫のそばには、W字形のカシオペア座と、とがった五角形のケフェウス座が見えます。さらに、秋の四辺形の東側の辺を南の空にのぼすと、くじら座が見つかります。アンドロメダ姫を食べようとした、恐ろしいお化けくじらです。

西の空は、3つの一等星でできる夏の大きな三角が、なごり惜しげに輝きます。一方、東の空は、冬の星座が見えるようになり、すっかり冬模様です。リボンの形のオリオン座や、きれいな五角形のぎよしゃ座は、明るい星が多く、形がわかりやすいのでオススメです。

星空を見るときは、風も冷たくなってきたので、暖かい服装で見てくださいね。